



新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

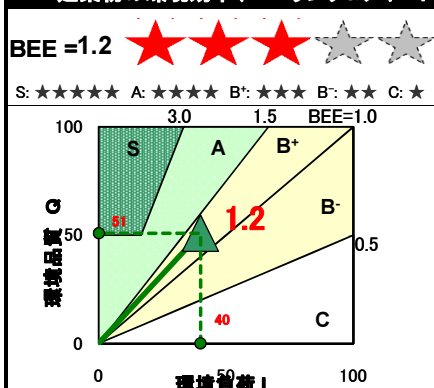
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	京都科学 新工場	階数	地上4F
建設地	京都市伏見区北寝小屋町15番地	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	80 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	1,800 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年3月 予定	評価の実施日	2008年7月8日
敷地面積	4,881 m ²	作成者	
建築面積	1,553 m ²	確認日	2008年7月10日
延床面積	5,721 m ²	確認者	

外観パース等

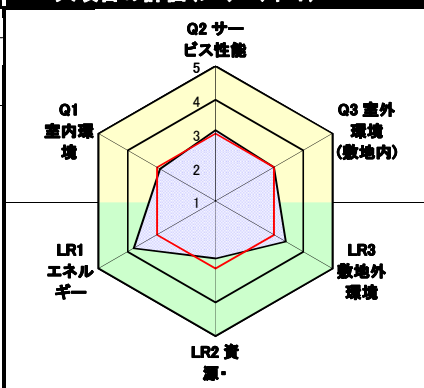
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

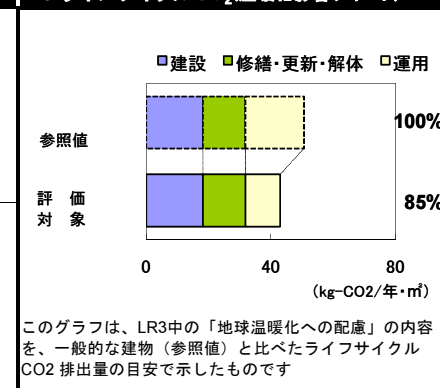
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



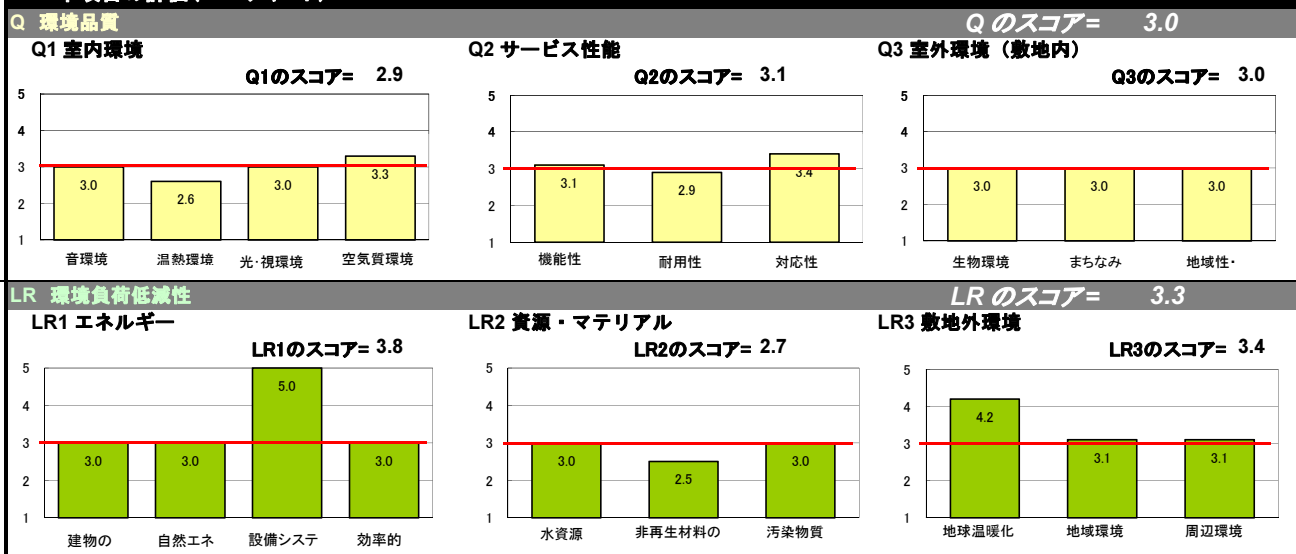
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
シックハウス対策	広さ、高さを確保	緑地の確保
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
消費電力の低減		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される